

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和5年 3月 20日

殿

提出者

住 所 高知県高知市針木東町26番54号

氏 名 株式会社オアシス・イラボレーション

代表取締役 川渕 誉雄

電話番号 088-843-6811

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、 年度の産業廃棄物

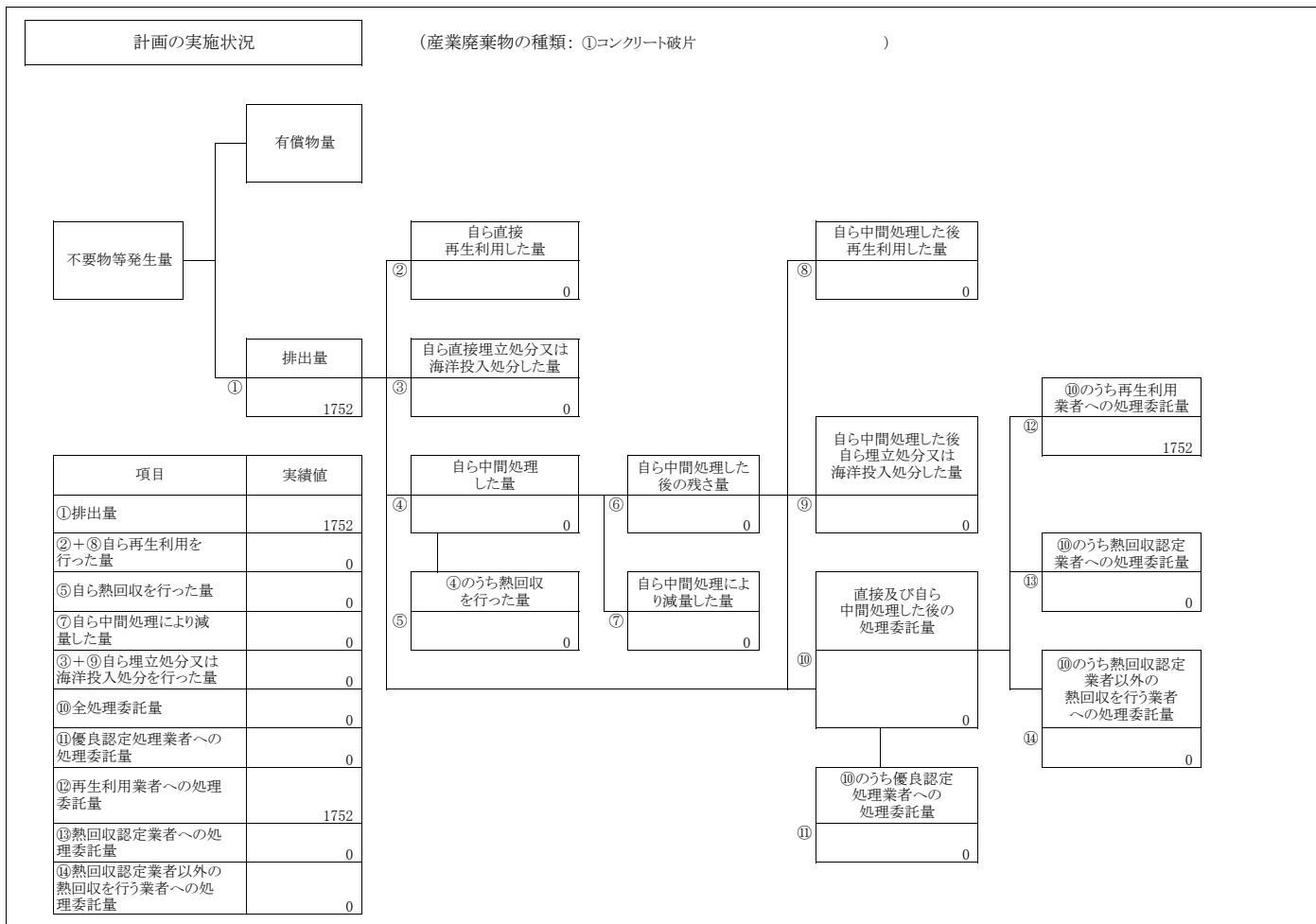
処理計画の実施状況を報告します。

事 業 場 の 名 称	大阪府営堺金岡4丁5番第3期住宅（建て替え）中層耐火住宅撤去工事（第1工区）
事 業 場 の 所 在 地	堺市管轄区域内
事 業 の 種 類	0796 : はつり・解体工事業
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

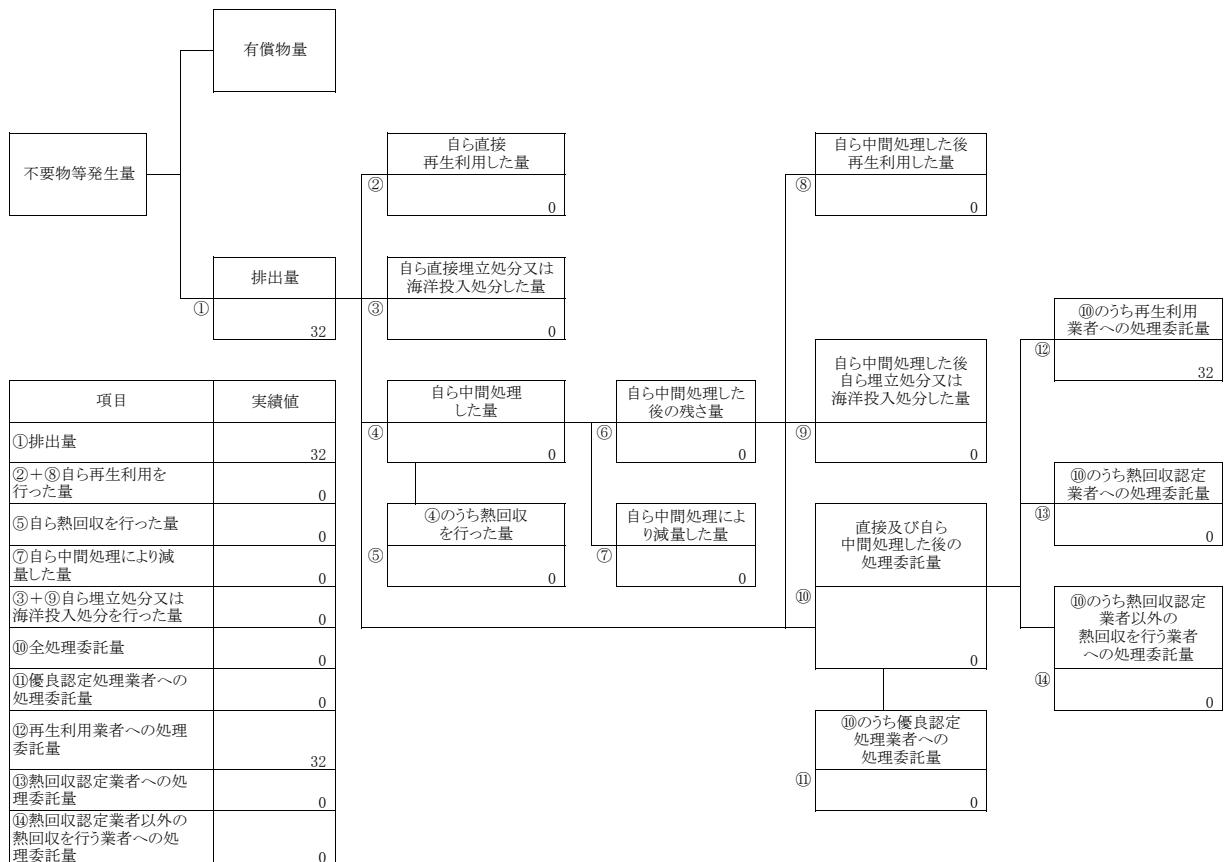
項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	2102t	全 処 理 委 託 量	2102t
自 ら 再 生 利 用 を 行 う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t
自 ら 热 回 収 を 行 う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t
自 ら 中 間 処 理 に よ り 減 量 す る 産 業 廃 棄 物 の 量	t	認 定 热 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t
自 ら 埋 立 处 分 又 は 海 洋 投 入 处 分 を 行 う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	認 定 热 回 収 業 者 以 外 の 热 回 収 を 行 う 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t
※事務処理欄			

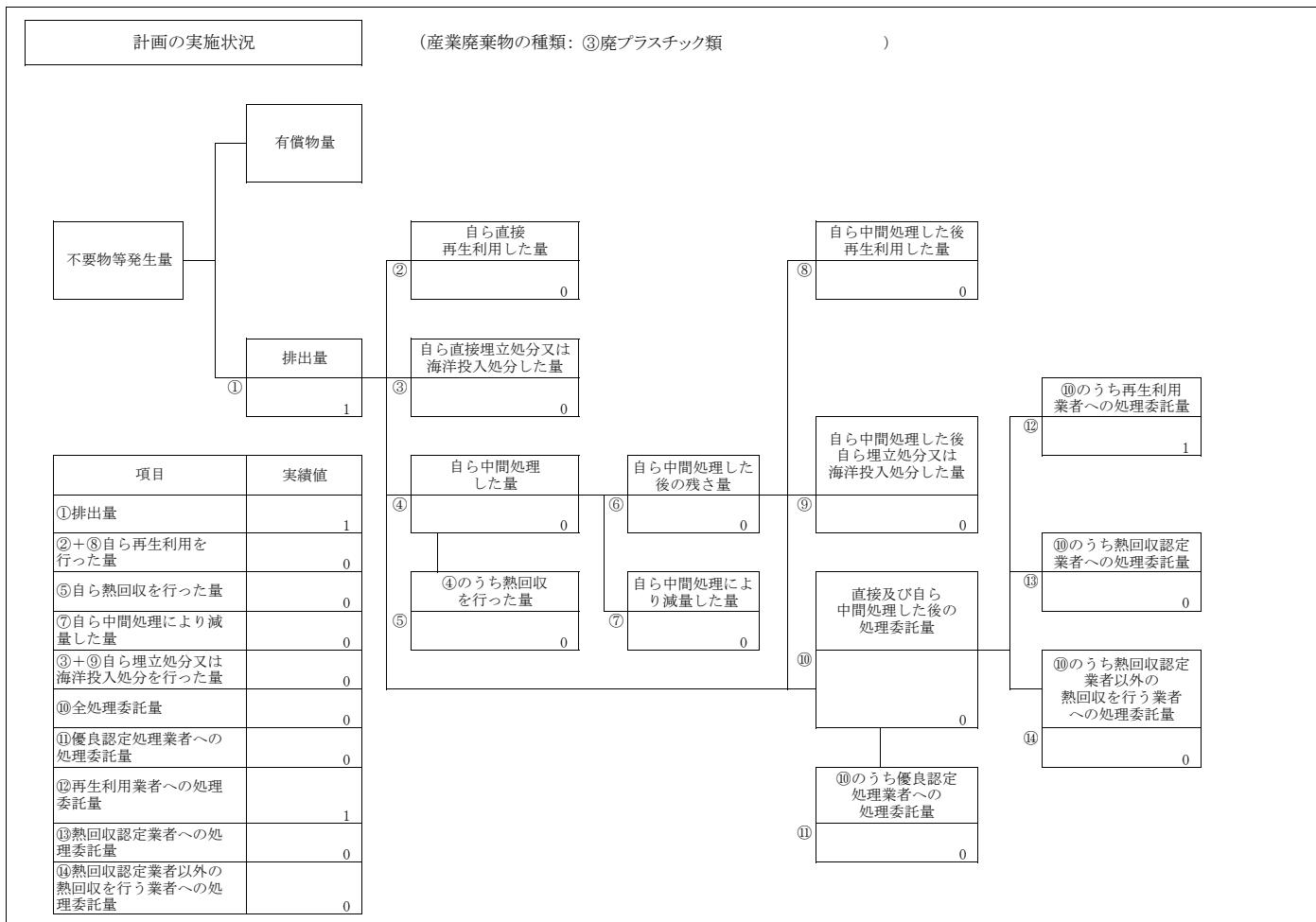
(日本工業規格 A列4番)

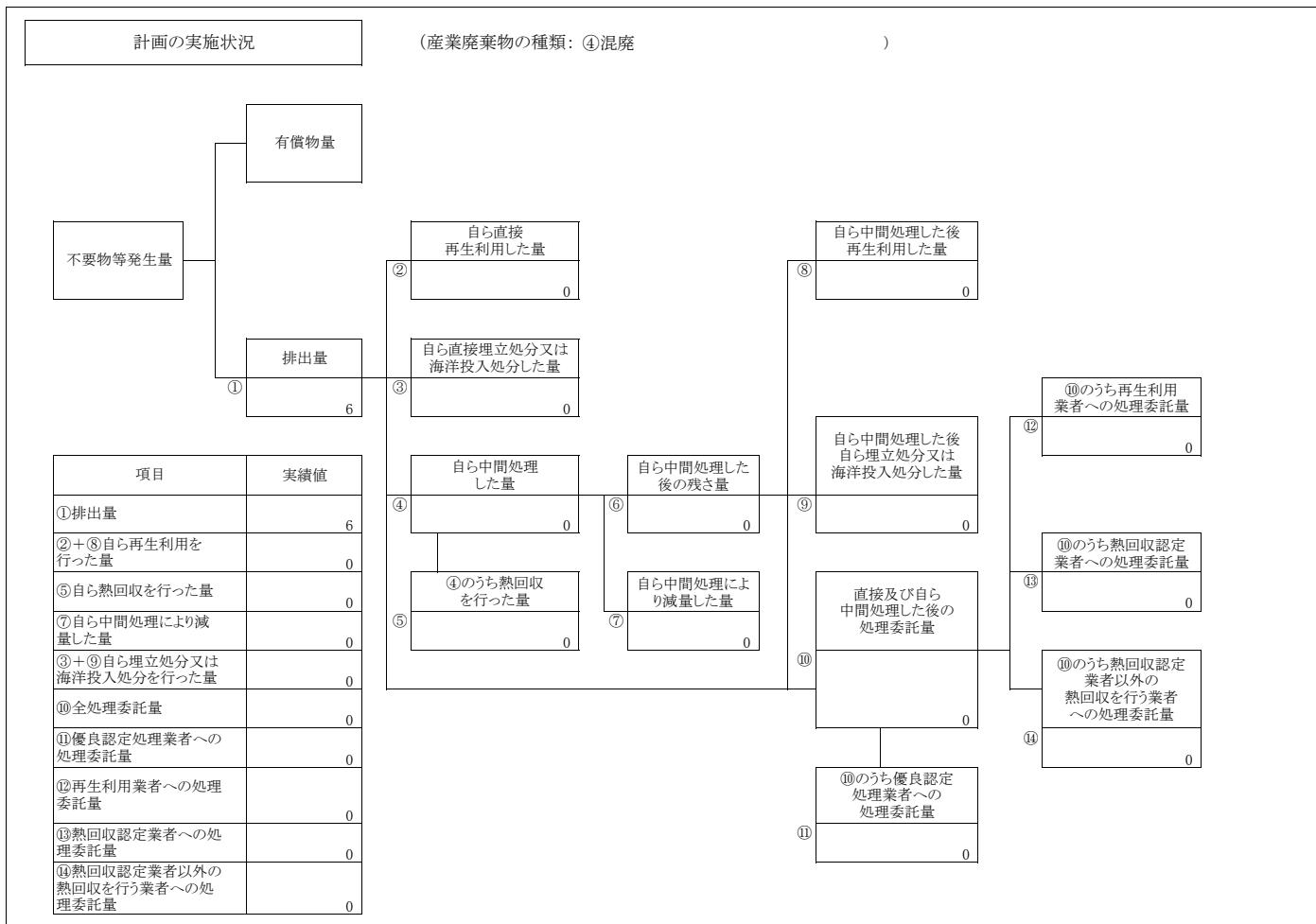


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ②アスコン破片)







備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑯の欄のそれぞれに、(1)から(16)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令 第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。

産業廃棄物処理計画実施状況報告書の〔別紙〕

提出者	名 称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
産業廃棄物を排出する事業者を統括的に管理する支社等の行方不明の場合は、報告担当部署の名称に記載する旨を明記する。 新潟県長岡市針木東町25番54号						
			報告担当部署の氏名 新潟県長岡市針木東町25番54号	報告担当部署の電話番号 090-343-6811	報告担当部署のFAX番号 090-340-4010	報告担当部署の電子メールアドレス fukusawa@nagaoka-u.ac.jp

産業廃棄物の種類	仕 留 の 実 累 紋										2+合計	3+合計
	①排出量	②自ら直接 再生利用した量	③自ら直接建立 料又は海洋投 入分とした量④	④自ら中間処理し 熱回収を行った量	⑤自ら中間処理 により減量した量	⑥自ら中間処理 した後再生利用 自ら建立料又は海 洋投人料分した量⑦	⑦自ら中間処理した 自己処理した後の 廃棄委託量⑧	⑧直接及び自ら 業者による区分	⑨再生料利用への 販路委託量⑨	⑩熱回収認定業者 への販路委託量⑩		
ヨーク 参考 産業廃棄物の種類 参照	発生した産業廃棄物 の種類ごとに記 す る こと から 再生利用した量	①の量のうち、中間 処理せざり自ら建立料 又は海洋投人料分した 量	②の量のうち、中間 処理せざり自ら建立料 又は海洋投人料分した 量	③の量のうち、中間 処理をした後 回収を行った量	④の量のうち、自ら中 間処理を した後回収を行 った後の量	⑤の量のうち、自ら中 間処理を した後回収を行 った後の量	⑥の量のうち、自ら中 間処理及び最終結 果を委託した量	⑦の量のうち、自ら中 間処理及び最終結 果を委託した量	⑧の量のうち、直接 業者による区分	⑨の量のうち、直接 業者による区分	自ら直接利用 した量⑪	自ら直接利用 した量⑫
1 1501 ①コンクリート破片	1,752							1,752				0
2 1502 ②アスコン破片	32							32				0
3 600 ③廃プラスチック類	0.7							0.7				0
4 200 ④混雑	6										6	0
5 ⑤												0
6 ⑥												0
7 ⑦												0
8 ⑧												0
9 ⑨												0
10 ⑩												0
11 ⑪												0
12 ⑫												0
13 ⑬												0
14 ⑭												0
15 ⑮												0
16 ⑯												0
17 ⑰												0
18 ⑱												0
19 ⑲												0
20 ⑳												0
合計	1,791	0	0	0	0	0	0	0	1,785	0	0	0

(注1)ト�(キロ)は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。

(注2)上記の産業廃棄物の種類以外の排出実績があった場合は、必要に応じ、直接追加入力とともに、第2面も追加してください。